

第13期 バルクグループレポート

2006.4.1—2007.3.31



株式会社 バルクホールディングス

CONTENTS

株主の皆様へ	01
社長インタビュー	01
財務ハイライト	03
トピックス	05
連結財務諸表	07
グループ会社の概要/会社概況/株式情報	09
アンケートのお願い	10
株主メモ	11

企業価値の創造 (Value Create) は、次のステージへ

新たなる『企業価値の創造』を目指し、バルクグループは変わります

株主、投資家の皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素は当社グループに格別のご支援、ご鞭撻を賜り心より厚く御礼申し上げます。

当社グループは、これまでPBISM (Privacy & Business Information Security Management) 事業及びマーケティングリサーチ事業において、企業の価値創造活動の支援を行ってまいりましたが、昨今の市場ニーズの急激な変化に対応できるビジネス戦略の策定や、経営資源の最適配分など、グループ全体として迅速な意思決定が求められるようになり、新たな組織体制の構築が不可欠となってまいりました。

このような環境の中、当社グループは、グループ全体の事業規模の拡大と経営管理体制の強化を図るため、平成19年3月1日をもちまして純粋持株会社体制へ移行いたしました。

「株式会社バルクホールディングス」は、グループ全体の戦略企画や経営資源の最適配分などにより、グループ全体の健全性と透明性を高めることで、コーポレートガバナンスの強化に努めてまいります。新たに設立いたしました「株式会社バルク」は、PBISM事業及びマーケティングリサーチ事業を承継し、グループ会社とのシナジーを図りつつ、業績の拡大に努めてまいります。

これからも、バルクグループは「価値創造」の経営理念の下、グループ全体の企業価値の向上に努めてまいりますので、今後とも引き続きバルクグループをご支援賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



代表取締役社長
村松 澄夫

Q.1 平成19年3月1日、持株会社体制へ移行した理由を教えてください

A.1 近年、消費者ニーズの多様化や市場の構造変化、さらには事業者間の競争激化などによって企業を取り巻く環境は大きく変化しております。このような環境下で、異業種を含めたグローバルな競争を勝ち抜いていくためには、当社グループの強みを最大限に活かし、機動的な経営戦略を柔軟かつスピーディーに展開していくことが必要となってまいります。当社グループといたしましては、今後ますます多様化が予想されるお客様のニーズに的確かつ迅速に対応し、当社グループの継続的な成長を実現することができる組織づくりを目指すべく、純粋持株会社体制へ移行することといたしました。

今後は、この純粋持株会社体制の下、「連結経営基盤の確立」、「収益構造の改善」、「内部統制の強化」の3つの重点施策の実現により、安定して営業利益が確保できる経営基盤の早期確立に向けてグループ全体で取り組んでまいります。また、業界のイノベーターとして新しい施策を継続的に展開して時代を先取りするとともに、収益力の強化を図るべく、グループ各社の連携を強化し、当社グループの企業価値向上に努めてまいります。

Q.2 PBISM事業について教えてください

A.2 近年、企業内の高度情報化の進展に伴うITシステム依存や広域ネットワーク化によるシステムリソースの分散などにより、情報資産に対する顕在的リスクが増加しており、リスクマネジメントの重要性が高まってきております。また、平成20年4月以降から適用される日本版SOX法への対応として、上場企業を中心に財務情報管理を含めた企業の内部統制システムの確立と強化が求められております。当社グループは、これまで600社を超える企業に対して行ってきたコンサルティングのノウハウとITシステムを活用することで、お客様企業の作業負荷を大幅に軽減し、かつ短期間でのマネジメントシステム導入を可能にしております。また、導入後の継続・維持といった運用面のサポートも行っており、様々な企業ニーズに対応することが可能な体制を構築しております。

Q.3 マーケティングリサーチ事業について教えてください

A.3 マーケティングリサーチ事業につきましては、インターネットを利用したマーケティングリサーチを中心として、グループインタビューや会場調査など各種手法を組み合わせたリサーチサービスを提供しております。近年、消費者嗜好の多様化により商品ライフサイクルの短期化が進んでおり、マーケティングリサーチ市場は年々拡大しております。当社グループは、これらのニーズに的確に応えるべく、業界のイノベーターとして新しいリサーチ手法の開発に積極的に取り組み他社との差別化を図るとともに、多様化する企業のマーケティングリサーチ活動を支援しております。

Q.4 当期の業績について教えてください

A.4 当社グループの平成19年3月期の売上高は1,687百万円となり、前期比32.0%の増加となりました。利益面においても、営業利益が43百万円で前期比39.1%の増加、経常利益が41百万円で前期比254.5%の増加となりました。事業セグメント別に見ますと、





PBISM事業におきましては、前期に引き続きプライベートマーク認定取得及びISO270001認証取得コンサル

ティングを行ってまいりましたが、下期から日本版SOX法に対応した内部統制システム構築支援を開始し、上場企業を中心に受注をいただいたことで売上が拡大いたしました。

マーケティングリサーチ事業におきましては、企業のマーケティングリサーチ活動の多様化により、従来の枠組みにとらわれない新しいリサーチ手法が求められております。このような状況の下、当社グループは斬

新なりサーチ手法を継続的に開発することで他社との差別化を図り、受注の拡大に努めてまいりました。また、平成18年5月に子会社化した日本データベース開発（株）とのシナジー効果もあり、売上は大きく拡大いたしました。

Q.5 今後の見通しについて教えてください

A.5 PBISM事業及びマーケティングリサーチ事業の属する業界は、ともに拡大基調にあり、今後も明るい見通しが期待できます。

特に、日本版SOX法への対応を見据えた内部統制システム構築関連ビジネスにつきましては、今後大きな市場が見込まれております。当社グループは、内部統制システムの導入のみならず、導入後の継続・維持といった運用面のサポートまで行うことができるという強

みを活かし、顧客企業内のあらゆる改善ニーズをソフト・ハード両面から継続的に支援してまいります。マーケティングリサーチ事業につきましても、引き続き斬新なりサーチ手法の開発を推進して他社との差別化を図り、拡大する市場の中で着実にビジネスチャンスを探る体制を構築してまいります。

バルクグループは、純粋持株会社への移行を契機として、経営責任を明確化するとともに意思決定の迅速化と経営資源の効率化を図り、また、新規事業への進出も視野に入れながら、市場の変化に柔軟に対応できる体制の強化を図ってまいります。

Q.6 最後に、株主・投資家の皆様へのメッセージをお聞かせください

A.6 当社グループは、多くの企業の企業価値向上に向けた支援を様々な形で行っており、社会

的意義のあるビジネスを展開しているという自負があります。

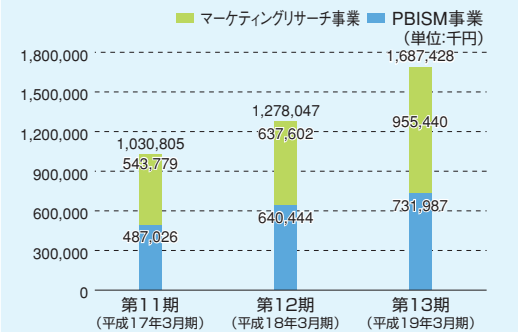
今後も世の中に役立つサービスを提供し続ける一方で安定的な収益基盤づくりを推進し、当社グループの継続的な企業価値向上に努めてまいります。

株主・投資家の皆様には、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

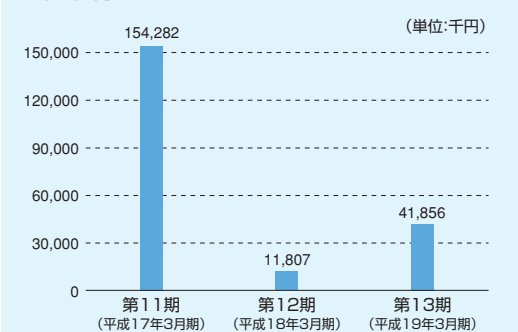


財務ハイライト

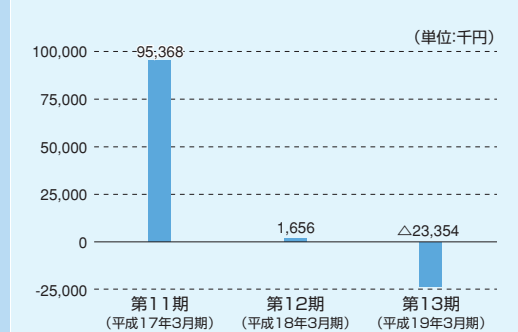
◆セグメント別売上高構成



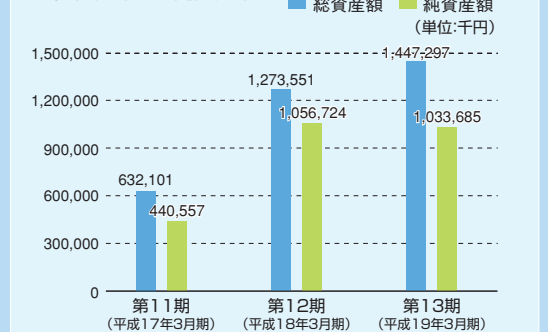
◆経常利益



◆当期純利益又は当期純損失(△)



◆総資産額／純資産額



バルクグループは純粋持株会社体制に移行しました

平成19年3月1日株式会社バルクホールディングスが誕生しました



さらなる事業領域の拡大と経営管理体制の強化を図るため、平成19年3月1日をもって純粋持株会社体制へ移行し、新たな成長ステージへの大きな一歩を踏み出しました。

わたしたちは「価値創造」の経営理念の下、グループ各社の連携を強化し、お客様のあらゆるニーズにワンストップサービスで応えとともに、バルクグループの企業価値向上に努めてまいります。



インターネットカフェリサーチ『MINT』に続き新サービス登場!

時々刻々と変化する消費者需要や嗜好をいかにして把握し、そしてそれをいかに最大限に満たすか。企業はその手段を探るべく、マーケティングリサーチを行います。

バルクグループでは従来より、各種調査手法を合わせた、総合リサーチソリューションの提供により、多くの企業のマーケティング活動のサポートを行ってまいりましたが、さらなるサービスの拡充として、新たな調査・分析手法の開発を日々進めております。

昨年7月には、インターネットカフェを利用した体感型マーケティングリサーチ『MINT*1』のサービスを開始し、

各種メーカーの商品企画・開発にご活用頂いております。

さらに、平成19年7月からは、人間の右脳が司る“直感”を利用した、次世代型調査手法『右脳リサーチ』のサービスを開始。これは、人間が直感的に捉えた商品や広告などのイメージ・印象などを適確に捉えるサービスで、人々の購買意欲を左右する直感を新商品開発などに活用することができる、画期的な調査手法です。



*1 MINT=Membershipsystem Internetcafe Test

ITシステムの活用によりマネジメントシステムの効率的な構築を実現!

内部統制システム構築コンサルティング

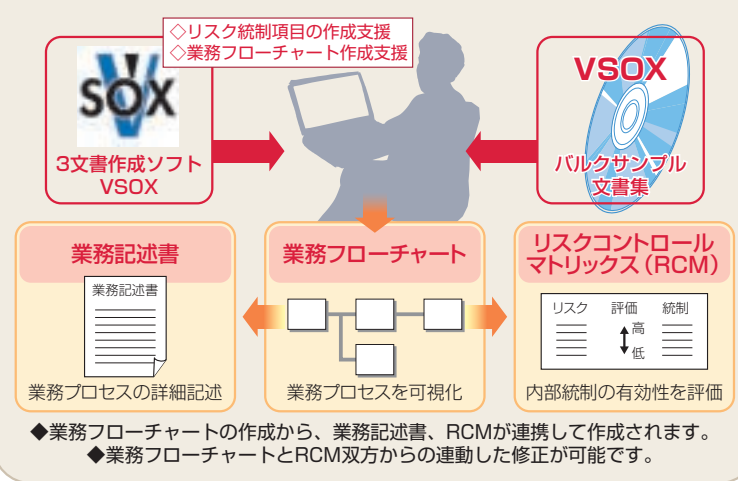
日本版SOX法対応

日本版SOX法の適用を平成20年4月に控え、短期間のうちにどれだけ効率よく内部統制システムを構築するか、といった話題ばかりが先行しがちですが、内部統制は、その体制を「構築」することだけが本来の目的ではなく、体制を「構築」し、「継続・維持」する、といった、いわゆるPDCAサイクルを回すマネジメントシステムとして確立することが必要です。バルクグループはこれまで600社を超える企業に対して行ってきたマネジメントシステム構築のノウハウと各種ITシステムとの融合により、様々な企業ニーズに応えてまいります。

バルクの内部統制構築・評価支援基本フロー



バルクグループは効率的な3文書作成を実現



内部統制システム構築においては3文書（業務フローチャート、業務記述書、リスクコントロールマトリックス）の作成が必要となってきますが、この3文書作成のボリュームは内部統制システム構築の70～80%を占めるともいわれており、この3文書をいかに効率よく作成するかがポイントとなってまいります。

バルクグループは、これらの3文書の作成作業にかかる負荷を大幅に軽減する「VSOX」等のITシステムを活用することにより、短期間に効率よく内部統制システムの導入を行うだけでなく、導入後の継続・維持といった運用面に関しても効率化を図っております。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度 平成19年3月31日現在	前連結会計年度 平成18年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	1,217,710	1,130,742
現金及び預金	491,871	781,549
受取手形及び売掛金	373,480	320,655
有価証券	319,246	—
仕掛品	2,082	8,338
貯蔵品	1,588	1,130
前払費用	7,070	3,564
繰延税金資産	16,391	5,930
未収還付法人税等	—	10,574
その他	7,199	400
貸倒引当金	△1,221	△1,400
固定資産	229,587	142,809
有形固定資産	5,430	5,774
建物及び構築物	3,956	3,956
減価償却累計額	△1,649	△1,063
工具器具備品	14,267	10,679
減価償却累計額	△11,143	△7,797
無形固定資産	133,793	73,667
ソフトウェア	67,868	56,459
ソフトウェア仮勘定	6,510	4,200
連結調整勘定	—	12,608
のれん	57,975	—
その他	1,438	398
投資その他の資産	90,363	63,367
投資有価証券	39,580	14,000
敷金・保証金	42,955	34,134
繰延税金資産	6,248	14,092
その他	1,579	1,141
資産合計	1,447,297	1,273,551

(注) 1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 前期において、「連結調整勘定」として掲記されていたものは、当連結会計年度から「のれん」と表示しております。

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度 平成19年3月31日現在	前連結会計年度 平成18年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	369,228	188,869
支払手形及び買掛金	97,022	103,029
短期借入金	91,670	3,336
未払金	11,129	22,067
未払費用	59,699	15,812
未払法人税等	50,942	11,432
未払消費税等	20,366	12,146
預り金	7,173	9,658
賞与引当金	5,875	1,386
モニタポイント引当金	22,500	10,000
その他	2,848	—
固定負債	44,383	27,958
退職給付引当金	9,419	2,967
役員退職慰労引当金	34,964	24,991
負債合計	413,611	216,827
(少数株主持分)		
少数株主持分	—	—
(資本の部)		
資本金	—	514,451
資本剰余金	—	459,310
利益剰余金	—	82,962
資本合計	—	1,056,724
負債、少数株主持分及び資本合計	—	1,273,551
(純資産の部)		
株主資本	1,033,369	—
資本金	514,451	—
資本剰余金	459,310	—
利益剰余金	59,607	—
少数株主持分	316	—
純資産合計	1,033,685	—
負債純資産合計	1,447,297	—

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度 平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで	前連結会計年度 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
売上高	1,687,428	1,278,047
売上原価	881,737	691,201
売上総利益	805,690	586,845
販売費及び一般管理費	762,042	555,456
営業利益	43,648	31,389
営業外収益	6,555	332
受取利息	1,586	3
有価証券売却益	2,243	—
雑収入	2,724	329
営業外費用	8,347	19,914
支払利息	1,152	161
為替差損	177	41
新株発行費償却	—	8,669
株式交付費	3,846	—
株式公開費用	—	10,241
雑損失	3,170	801
経常利益	41,856	11,807
特別利益	815	—
特別損失	11,380	—
税金等調整前当期純利益	31,291	11,807
法人税、住民税及び事業税	56,947	16,154
法人税等調整額	△2,617	△6,004
少数株主利益	316	—
当期純利益又は当期純損失(△)	△23,354	1,656

(注) 1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 前期において、「新株発行費償却」と掲記されていたものは、当連結会計年度から「株式交付費」と表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度 平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで	前連結会計年度 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	85,449	△63,553
投資活動によるキャッシュ・フロー	△94,868	△45,477
財務活動によるキャッシュ・フロー	38,987	587,273
現金及び現金同等物の増加額	29,568	478,242
現金及び現金同等物の期首残高	781,549	303,307
現金及び現金同等物の期末残高	811,118	781,549

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

当連結会計年度 平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで	株主資本		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金
平成18年3月31日残高	514,451	459,310	82,962
連結会計年度中の変動額			
当期純損失			△23,354
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)			
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△23,354
平成19年3月31日残高	514,451	459,310	59,607

当連結会計年度 平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで	株主資本		純資産合計
	株主資本合計	少数株主持分	
平成18年3月31日残高	1,056,724	—	1,056,724
連結会計年度中の変動額			
当期純損失	△23,354		△23,354
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)		316	316
連結会計年度中の変動額合計	△23,354	316	△23,038
平成19年3月31日残高	1,033,369	316	1,033,685

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

グループ会社の概要

～ 新たな価値の創造へ 株式会社バルクホールディングス VLC HOLDINGS CO., LTD.

本社 〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町2-2-6
 設立 1994年9月27日
 資本金 5億1,445万円
 役員 代表取締役 村松 澄夫 常勤監査役 鳩原 恵二
 常務取締役 浅川 浩 監査役 奥津 憲生
 取締役 柏山 一郎 監査役 田中 裕幸
 取締役 吉野 真 監査役 鴫崎 俊也

～ 企業の「価値創造 (Value Create)」活動を支援

株式会社バルク
 本社 〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町2-2-6
 西日本支店 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島5-5-15
 事業内容 マーケティングリサーチ事業、情報セキュリティ・内部統制構築コンサルティング事業

～消費マインドを映し出すインターフェイス

株式会社ベル・マーケティング・サービス
 本社 〒104-0041 東京都中央区新富1-13-23
 事業内容 市場調査の企画・実施及びその関連業務

～情報セキュリティ対策をワンストップで支援

株式会社バルクセキュア
 本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-10-16
 事業内容 情報漏洩・セキュリティ対策支援サービス

～『ことば』の整理で、あらゆるデジタル資源の有効活用を支援

日本データベース開発株式会社
 本社 〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-19-12
 事業内容 辞書開発事業、コンテンツ開発事業、電子図書館支援事業、システム開発・運用支援事業

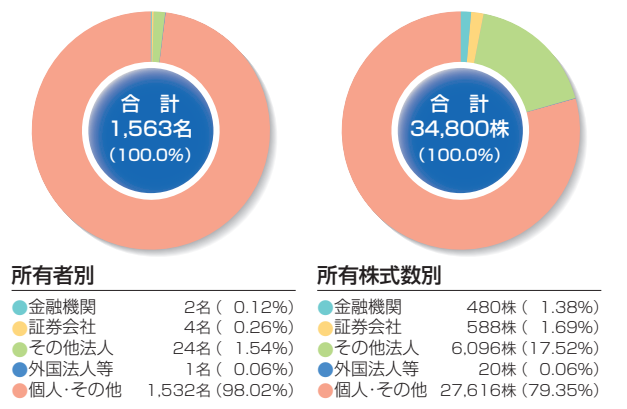
株式の状況

会社が発行する株式の総数	94,000株
発行済株式の総数	34,800株
株主数	1,563名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 株	持株比率 %
村松 澄夫	12,905	37.08
全国保証株式会社	2,500	7.18
鈴木 良二	1,300	3.74
あおぞらインベストメント一号 投資事業有限責任組合	750	2.16
株式会社フレームワークス	500	1.44
大興電子通信株式会社	500	1.44
りそなキャピタル株式会社	500	1.44
あいおい損害保険株式会社	400	1.15
株式会社日本ロジックス	400	1.15
松井証券株式会社	346	0.99

株式分布状況



アンケートのお願い

当社では、株主・投資家の皆様とのコミュニケーションをはかるため、アンケートを実施させていただきたく存じます。お手数ではございますが、質問にお答えいただき、ご投函ください。ご協力をお願いいたします。

アンケート

- バルクグループレポートについて、ご感想をお聞かせください。
満足 やや満足 普通 やや不満 不満
- 当社の事業内容をご理解いただく上で、最も参考になった記事は何か。ひとつお選びください。
トップメッセージ トピックス 連結財務諸表
グループ会社の概要 株式の状況 株主メモ
- 当社の株式を購入された理由をお聞かせください。(複数可)
収益性 成長性 経営方針 財務内容 株価
企業イメージ その他
- 当社に関する情報入手手段は何ですか。(複数可)
バルクグループレポート 新聞 情報誌 四季報・会社情報
インターネット ホームページ その他
- 当社へのご意見・ご要望がございましたらお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社証券代行部
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号
住友信託銀行株式会社証券代行部

(郵便送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社証券代行部
(電話照会先) (住所変更等用紙のご請求) ☎ 0120-175-417
(その他ご照会) ☎ 0120-176-417
(ホームページアドレス) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>
同 取 次 所 住友信託銀行株式会社本店及び全国各支店
公 告 方 法 電子公告の方法により行います。
公告掲載URL <http://www.vlcholdings.com/>
ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告を行うことが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載します。
住所等の変更 ご住所（住居表示の変更も含む）、お届出印、配当金受領方法等を変更される場合は、お早めに上記株主名簿管理人にお届けください。
なお、株券等保管振替制度をご利用されている方は、お取引のある証券会社等へのお届けとなります。

郵便はがき

1 0 3 - 8 7 9 0

9 5 5

(受取人)

東京都中央区日本橋馬喰町2-2-6
朝日生命須長ビル4階

株式会社バルクホールディングス
株主アンケート係 行



料金受取人払郵便

日本橋局承認

8218

差出有効期間
平成20年6月
28日まで

※個人情報保護のため株主番号のみご記入ください。株主番号は同封の書類でご確認ください。

株主番号(8ケタ)									
性別	<input type="checkbox"/> 男性	<input type="checkbox"/> 女性							
ご年齢	<input type="checkbox"/> 20歳未満	<input type="checkbox"/> 20代	<input type="checkbox"/> 30代	<input type="checkbox"/> 40代	<input type="checkbox"/> 50代				
	<input type="checkbox"/> 60代	<input type="checkbox"/> 70代	<input type="checkbox"/> 80代	<input type="checkbox"/> 90歳以上					
ご職業	<input type="checkbox"/> 会社員	<input type="checkbox"/> 会社役員	<input type="checkbox"/> 自営業	<input type="checkbox"/> 公務員					
	<input type="checkbox"/> 主婦	<input type="checkbox"/> 学生	<input type="checkbox"/> 無職	<input type="checkbox"/> その他					

※ご記入いただいた個人情報は、個人を特定しないTR統計資料作成の目的のみで使用させていただきます。

ホームページのご案内

当社の詳しい情報はホームページからご覧いただけます。

<http://www.vlcholdings.com/>



vlc 株式会社 バルクホールディングス
HOLDINGS

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町2-2-6朝日生命須長ビル4階
Tel.03-5649-2500 (代表) Fax.03-5649-2710